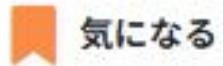


SNS活用に関するアドバイス

東部地区 オンライン相談



気になる



団体

谷河内南町会



スキル

SNS・広報



募集期限

2025年12月23日 (火)



2025/12/9

中島聰

Zoom インタビュー

参加者 町会副会長 原田仁様

現在の状況と町会の悩み

- ・ 組長、地区担当、回覧板配布の負担を軽減してあげたい。
- ・ 町内に掲示板が8つしかなく情報が行き届きにくい。
- ・ 防災訓練に力を入れているが町民にうまく伝わっていない。
- ・ 回覧板は、基本的に町会員しか閲覧していない。
- ・ ホームページはあるがいわゆる「待ち」の姿勢になっている。
- ・ 残り400世帯を町会のコミュニティにうまく巻き込みたい。
- ・ マンション住民（若い世代の家族）とのつながりが弱い。
- ・ 町会の正式なLINEアカウントを開設できていない。
- ・ LINEを使いたいが、誰が運用するかが決まっていない。

面談時にお聞きした町会情報のメモ

- 役員約12人（会長、副会長、書記、交通部、防犯部、防災研究部、婦人部、広報部、それぞれに部長、副部長を配置）。
- 800世帯、町会400世帯町会に加入。
- 年会費約4,000円/世帯、5月に総会があり。
- 町会は4班に分かれて、部長を配置、1～3部。年替わりで部長が交代。
- 江戸川区も施策をしている、デジタル化推進中。
- LINEの予算として月に5,000円は捻出できる。
- LINE公式アカウントが作成できない→ご提案として、町会用の正式なGoogle Account(メール)を作成して、LINE公式アカウントに適用する。
- 会員と非会員の違い→回覧板ならではの情報が届く。親密なコミュニティに参加できる。防災グッズは会員のみ配布。防災訓練に参加すると食事や粗品の提供を受けることができる。

本日の進行 (90分を想定)

項目	内容	所要時間
1	町会様の自己紹介	5分
2	中島の自己紹介	5分
3	ご相談内容の確認	5分
4	課題と目的の整理	5分
5	セッション（アドバイス・ディスカッション）	60分
6	まとめ（振り返り・次の一步）	10分

- ・ 本スライドやLINE公式アカウントの管理画面などを切り替えながら進行します。
- ・ 進行や内容に関するご質問をすぐその場でご遠慮なくご質問ください。

今回のご相談

■ 希望する支援内容

SNS活用に関するアドバイス

【プロボノワーカー】として、【SNS活用に関するアドバイス】に関してご協力いただける方を募集しています。

特に若い世代の住民に向けて、当町会活動の認知をさらに広げたり、活動への参加を増やしていくために、LINE公式アカウントを立ち上げ、区からの情報や町会活動の情報発信を積極的に行いたいと考えています。

効果的な運用を行うために、以下のような内容について知識やアドバイスを提供してくださる方を募集します。

- ・LINE公式アカウントの各機能の詳細と、それぞれどう活用できるかの基礎知識
- ・町会として情報発信する際に効果的と思われる利用方法や参考になりそうな事例
- ・パソコンでLINE公式アカウントの運用操作をする場合の操作方法 など

町会内で運用できるメンバーを増やしていくため、わかりやすい説明の仕方もアドバイスいただけするとありがとうございます。

谷河内南町会の概要

■ 基本情報

名称： 谷河内南町会
所在地： 東京都江戸川区瑞江1丁目・会館住所（瑞江1-25-2）
対象エリア： 瑞江1丁目および2丁目の一部区域
地域特性： 戸建て・賃貸・分譲マンションが混在する住宅地。古くからの住民、新しく転入した世帯、多様な居住形態が共存。

■ 主な活動（公開情報より）

環境部： 清掃、美化活動、資源回収
防犯部： 防犯パトロール、地域見守り
交通部： 交通安全運動、見守り
婦人部： 行事運営サポート
防災研究部： 防災訓練、防災拠点活動
広報部： 回覧板・掲示物の作成、情報発信

■ 子ども関連

- ・ 谷河内若葉子ども会による地域行事・子どもイベントの実施
- ・ 地域全体で子育て世帯のサポートあり

現在の課題（中島事前推定）

1. 若い世帯に情報が届かない
2. マンションの住民が町会とつながりにくい
3. “町会が何をしているのか”が見えにくい
4. 役員の負担を増やさず、連絡方法をよくしたい

結論：「スマホで届く町会」の仕組みが必要。

LINEを使うと町会はこう変わります

LINEは「若い世帯にも届く新しい回覧板」。

役員の負担を増やさず、必要な情報を確実に届けられるようになります。

目的 (何のために?)	できること (町会にどんな良いこと?)	住民側のメリット (若い世帯含む)
情報を確実に届ける	<ul style="list-style-type: none">・スマホに直接お知らせが届く・回覧板が回らなくても伝わる	<ul style="list-style-type: none">・見落としが減る・忙しい世帯もすぐ確認できる
役員の負担を減らす	<ul style="list-style-type: none">・紙の印刷・配布が少なくなる・急な連絡も一度で全員へ	<ul style="list-style-type: none">・必要な情報だけ届くのでわかりやすい
防災・防犯の強化	<ul style="list-style-type: none">・緊急連絡をその場で送れる・避難情報を全世帯へ一斉配信	<ul style="list-style-type: none">・災害時に安心感が高まる
町会の様子を見る化	<ul style="list-style-type: none">・写真で活動を紹介できる・若い世帯に「町会っていいな」を伝えられる	<ul style="list-style-type: none">・雰囲気がわかり参加しやすくなる
未加入世帯へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none">・マンション住民も情報を受け取れる・若い家族が登録しやすい	<ul style="list-style-type: none">・“入り口”ができ、加入のきっかけになる

LINE公式アカウントを開設する前にやること

1. 町会役員で共有する正式なGoogleアカウントを作成
2. Googleメールアドレスで公式LINEアカウントを開設

LINEアカウントを開設してから、まず決める3つのこと

1.画面の下に並ぶ6つの大きなボタン

2.月に1回送る 「今月のお知らせ」

3.登録してもらうためのQRコードつき案内

使う機能はこの4つだけです

1. メッセージ配信機能 → お知らせを送る (行事・防災・区の情報)
2. リッチメニュー → 画面下の大きなボタン (町会のメニュー)
3. VOOM投稿 (タイムライン) → 写真のお知らせ (活動の様子を紹介)
4. Googleフォーム連携 → 簡単な入力ページ (参加申し込みやアンケート)

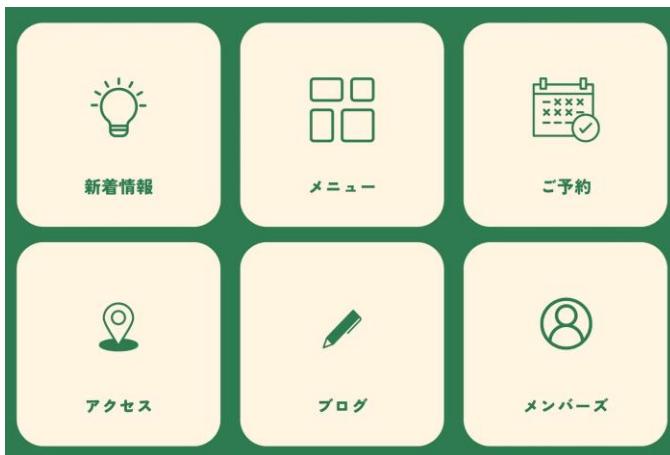
若い世代はこんな情報を求めています

- ゴミ・資源回収の案内
- 道路工事や地域の注意情報
- 子どもイベント・支援情報
- 防犯・防災の安心情報
- 町会活動の写真（雰囲気がわかる）

6つの大きなボタン（メニュー）

1. 町会について
2. ゴミ・資源回収
3. 防災情報
4. 子ども・イベント
5. 今月の予定（毎月更新）
6. 写真（活動の様子）

下のボタンは一度作ればほぼ変更なし。若い人が知りたい情報をすぐ見られます。



お知らせの出し方（負担少なめ）

- 月初：今月の予定
 - 行事の2週間前：お知らせ
 - 行事後：写真だけ投稿
- 👉 月2～3回、しかも役員の作業は1回10分程度です十分です！



♪【町内清掃のお知らせ】

今週日曜は朝8時から本一色公園前集合です。
軍手と帽子をご持参ください♪

みんなで気持ちのいい朝を迎えましょう！

#上一色北町会 #町内清掃 #江戸川区

午後 12:08

👉【防災訓練スタッフ募集】

来月の防災訓練に協力してくださる方を募集中です！
ご希望の方はこの投稿に返信、または「連絡・相談」メニューからご連絡ください。

#防災訓練 #ボランティア募集 #上一色北町会

午後 12:08

運用担当者が覚えるのは3つだけ

1. 文章を送る

2. 写真を載せる

3. ボタンを作る (最初だけ)

LINE公式アカウントは、町会と若い世代をつなぐ心強い入口です

- スマホで情報が届く
- 町会活動の魅力が見える
- 参加のハードルが下がる
- 無料で始められ、継続しやすい

谷河内南町会にとって、「参加が生まれる情報発信」の第一歩になります。

LINE運用のスタートはこの3つだけでOK

- ① リッチメニューの構成（6ボタン案の確定）
- ② 月1回の定期配信テンプレ案
- ③ 加入促進方法（QRコード+紙案内）の決定

理由：この3つが決まれば、町会公式LINEは「運用できる状態」になります。
逆に、ここさえ固まつていれば運用はとてもシンプルになります。

1 リッチメニュー構成

■結論

6つのボタンは、「役員が更新しなくても成立する固定情報①～④と、季節で変える情報⑤と⑥」で構成します。

- ① 町会について（活動内容・会費・加入案内）
- ② ゴミ・資源回収（区のサイトへリンク）
- ③ 防災情報（避難所・ハザードマップ）
- ④ 子ども・イベント情報（若葉子ども会含む）

- 月1で情報を投稿するボタン（2つ）
- ⑤ 今月の予定（行事カレンダー）
- ⑥ 写真レポート（VOOM）

1	2	3
4	5	6



※6番の写真は町会の“雰囲気を見せる”力が強く、若い世代の加入動機になります。

②月1回の定期配信テンプレート案 (町会が続けられる最も簡単な型)

■結論

月1回は「今月の予定テンプレ」を送るだけで十分。
行事がある月は事前案内とレポートの2回追加。

■理由

町会LINEは高頻度配信が逆効果になります。

投稿が多すぎると、ミュート（非通知設定）されると一
気に届かなくなるため、月2～3回が最適。

■テンプレ（コピペで毎月使える型）

 【今月の予定のお知らせ】〇月

- ・〇/〇 (日) 資源回収
- ・〇/〇 (土) 清掃活動
- ・〇/〇 (日) 防災訓練
- ・その他のお知らせはこちら 

[リッチメニューの「町会について」ボタンへ誘導]

 お知らせ

- ・天候により変更となる場合があります
- ・ご参加いただける方は当日そのままお越しください

■合わせて決めておきたい「配信ルール」

毎月1日か月初の平日に送る（固定）

行事の2週間前に1回だけ案内

行事後はVOOMで写真レポート

③ 加入促進方法 (QRコード+紙案内の現実的な運用)

■ 結論

加入促進は「回覧板×公園掲示板×マンション掲示板×近所イベント」の4点設置で完結します。

QRコードは「手の届く範囲に置く」が効果的です。

■ 理由

町会は「加入したいけど入口がない」という状態が一番多い。
入口さえあれば、若い世帯は自然に入ります♪

■ 追加で決めるべきこと (相談会で10分以内で決まる)

- QRコードのデザイン (ふちあり・なし)
- 紙案内に入れる一言 (「スマホで便利」推しが刺さる)
- どこに配る/どこに置くか
- 誰がデータを印刷し、いつ配布するか

→ 役割が明確なら運用の負担は限りなくゼロに。

No	施策	内容・文言例	期待効果・補足
①	回覧板にQRコード付きA5紙を挟む	 町会LINEはじめました • 防災 • 清掃・ゴミ情報をスマホにお届け • 写真で活動の様子も見られます → 登録はこちら (QR)	• 回覧板は全世帯へ確実に届く • 高齢者はQRが読めない場合 → 「お子さんに登録をお願いしてください」と添えると登録率UP
②	公園掲示板にA4ポスターを掲示	文言例：毎週のゴミ・資源回収情報もLINEで届きます	• 子育て世帯の主要導線に直接届く • 若い世代は「便利情報」に反応しやすい
③	マンション管理会社に掲示許可をもらう	チラシまたはQRポスター1枚でOK	• 新築マンション • 賃貸は転入者が多く、加入率の伸びが最も大きい • 管理会社は地域情報の掲示に協力的なケースが多い
④	町内イベントで“その場登録”を促す	対象イベント： • 盆踊り • 清掃の日 • 防災訓練	• テーブルにQRを置くだけで登録急増 • 役員が「よかつたら登録だけお願いします」と声をかけると効果倍増